

かながわの交通

2019
1

交通安全年間スローガン受賞作品 (内閣総理大臣賞)
～こども部門～ 中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの

とび出さない いったんとまって みぎひだり



油壺からの富士山

(三浦市三崎町諸磯)



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

歩行者
事故
多発!

◎県内の交通事故発生概況(平成30年12月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
平成30年		26,212	162	30,992	県人口	9,182,071	4,578,260	4,603,811
平成29年		28,540	149	33,642	免許人口	5,638,788	3,224,199	2,414,589
増減数		-2,328	+13	-2,650	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人
増減率		-8.2	+8.7	-7.9				

(県人口は平成30年12月1日、免許人口は平成30年11月末現在)

公益財団法人
神奈川県交通安全協会

会長 石坂 浩二



新年明けましておめでとうござい
ます。
皆様方には、ご家族共々希望に満
ちた輝かしい新春をお迎えのこと
とお慶びを申し上げます。

年頭ご挨拶

神奈川県警察

本部長 古谷 洋一



謹んで新年の御挨拶を申し上げ
ます。
公益財団法人神奈川交通安全
協会の皆様におかれましては、輝か
しい新春をお迎えのこととお慶び申
上げます。

交通安全協会の活動全般にわた
り、平素から深いご理解と多大なご
支援・ご協力を賜っておりますことに
厚くお礼申し上げます。

また、昨年中、県内の交通安全諸活
動を推進していただきました、県民
の皆様をはじめ、県、県警察、関係機
関・団体の皆様方に対し深く敬意と
謝意を表する次第であります。

さて、昨年の本県における交通事
故の状況は、発生件数、負傷者数は
前年より減少しましたが、亡くなら
れた方は162人と前年を上回った
ものの統計史上3番目に少ない人数
となりました。

交通死亡事故の内容につきまして
は、二輪車事故が著しく増加し、高齡
者の方が犠牲になられた事故や自転
車利用中の事故も依然として多く発

貴協会の皆様には、平素から地域
における交通安全活動はもとより、
警察行政各般にわたり深い御理解と
御協力を賜り、厚くお礼を申し上
げます。

さて、昨年の交通事故情勢につき
ましては、皆様をはじめとする関係
機関・団体の御協力の下、交通事
故抑止対策を推進してまいりました
結果、人身交通事故の発生件数及
び負傷者数は平成に入り最少とな
りました。

しかしながら、亡くなられた方は、
162人と前年に比べ13人増加し、
大変厳しい結果となりました。

このような情勢に鑑み、県警察の
本年の取組といたしまして、悲惨な
交通事故を1件でも減少させるため

生しております。

特に、高齡者は全死者数の約半数
を占め、歩行中に亡くなられる事故
が多くなるなど非常に厳しい状況に
なっております。

交通事故は「誰もが加害者にも被
害者にもなり得る身近な問題」です
が、一人ひとりが基本的な交通ルー
ルやマナーを守れば、悲惨な交通事
故はもって減少させることが出来ると
思います。

今後も、県、県警察、自治体、関係
機関・団体、ボランティアの皆様方が一
体となった、心に訴える県民総ぐるみ
の交通安全活動が重要であると感じ
ているところであります。

神奈川県交通安全協会といたし
ましては、本年も皆様方のご協力を
得ながら各地区交通安全協会と

高齡者と子供、二輪車、自転車、
横断歩行者保護に係る対策を重点
とし、交通事故抑止につながる交通
指導取締りの強化と近年問題となっ
ているスマートフォンを操作しながら
の運転や前抱つこなどをなくすため
の自転車の交通ルールの更なる周知
を図つてまいります。

また、本年は横断歩行者保護を
重点に掲げ、横断歩道における歩
行者優先の意識の定着を図るため、
あらゆる機会を通じて広報啓発をし
ていくとともに、引き続き、高齡運
転者の方が運転免許を自主返納し
やすいように、返納後の優遇サービ
ス等の拡充を含めた環境の整備など
交通事故死亡事故抑止総合対策を強力
に推進してまいります。

緊密に連携し

- 子どもと高齡者を交通事故か
ら守る各種活動の推進
- 自転車の交通事故防止と安
全利用の推進
- 二輪車の交通事故防止に資
する各種活動の推進
- 飲酒運転等悪質運転危険運転
を根絶する活動の推進

等を重点として、交通安全活動に積
極的に取り組んでまいりますので、よ
り二層のご支援・ご協力をお願い申し上
げます。

結びに、今年一年が皆様方にとりま
して、明るく健やかな年となりますよ
う、心から祈念申し上げます。新年
の挨拶とさせていただきます。



本年は第7回アフリカ開発会議、
ラグビーワールドカップ2019、
そして来年には2020年東京オリ
ンピック・パラリンピック競技大会が開
催されます。

諸外国から多くの来訪者が予想さ
れ、世界中の方々に神奈川県交通
マナーの素晴らしさを発信するよい機
会であるとともに、県民だけではな
く、来訪者の方々の安全を確保する
観点からも交通安全意識の高揚に努
めてまいりますので、更なるお力添
えを賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協会のます
ますの御発展と会員の皆様の御健
勝、御多幸を心から祈念申し上げます。
年頭の御挨拶とさせていただきます。

第59回交通安全国民運動中央大会本会議 交通栄誉章「緑十字金・銀章」交通優良団体等表彰

金章7名、銀章33名、5団体が受章

1月17日、東京都の文京シビックホールで開催される第59回交通安全国民運動中央大会本会議における(公財)神奈川県交通安全協会推薦の受章者(団体)は次のとおりです。

★交通栄誉章緑十字金章

・交通安全功労者

- 室井 烈 (磯子)
- 横井 正巳 (金沢)
- 上田トキ子 (南)
- 森 克己 (栄)
- 沼田 忠男 (高津)
- 諸角 光雄 (津久井)
- 中村 克巳 (藤沢北)

★交通栄誉章緑十字銀章

・交通安全功労者

- 秋澤 邦雄 (加賀町)
- 野口 一平 (伊勢佐木)
- 志田 征男 (青葉)
- 八巻 裕仁 (泉)
- 玉江 牧雄 (川崎臨港)
- 岩田 修一 (川崎臨港)
- 中川 潔 (幸)
- 鹿島 義久 (中原)
- 徳田 幸夫 (三浦市)
- 高田 辰二 (大船)
- 保田 明夫 (平塚市)
- 露木 照政 (小田原)
- 古谷 勝利 (秦野市)
- 笹生 準一 (厚木警察署管内)
- 柳田 光太郎 (厚木警察署管内)

交通栄誉章緑十字金章受章者

	沼田さん		室井さん
	諸角さん		横井さん
	中村さん		上田さん
			森さん

・優良運転者

- 渡邊 美男 (磯子)
- 長澤 光雄 (金沢)
- 加藤 利夫 (金沢)
- 高橋 栄雄 (南)
- 中川 芳宏 (戸部)
- 増田 勉 (保土ヶ谷)
- 秋場 孝一 (保土ヶ谷)
- 佐藤 昭男 (保土ヶ谷)
- 須山 義昭 (川崎臨港)
- 高橋 孝行 (横須賀)
- 上坂 江美子 (浦賀)
- 長澤 和夫 (浦賀)
- 松嶋 久美子 (藤沢北)
- 岩本 敏男 (平塚市)
- 富田 泰平 (平塚市)
- 佐藤 義昭 (厚木警察署管内)
- 坂内 俊尊 (相模原)
- 荻田 道伸 (相模原)

★交通安全優良団体等

- ・横須賀米が浜町会
- ・横浜市立本郷小学校
- ・神奈川県立橋本高校
- ・磯子交通安全協会
- ・旭交通安全協会

新春のお慶びを
申し上げます



	公益財団法人 神奈川県交通安全協会 専務理事 菅原 保		相模地区 交通安全協会連合会 会長 古郡 保正		湘南地区 交通安全協会連合会 会長 中村 晃久		三浦半島地区 交通安全協会連合会 会長 岡 昌憲		一般社団法人 川崎市交通安全協会 会長 川崎 進		一般財団法人 横浜市交通安全協会 会長 板橋 悟		公益財団法人 神奈川県交通安全協会 会長 石坂 浩二
---	--------------------------------------	---	-------------------------------	---	-------------------------------	---	--------------------------------	---	--------------------------------	--	--------------------------------	---	----------------------------------

第59回交通安全国民運動中央大会で表彰される学校の紹介

◎ 横浜市立本郷小学校（横浜市栄区中野町16-1）

〔沿革等〕

横浜市立本郷小学校は、明治25年(1892年)に開校し、創立126周年を迎える学校です。生徒数は約600名で、学区内には本校を卒業した三世代にわたる保護者もあり、古くからの地域と新しく出来た住宅、マンションが混在し、区役所や警察署、消防署なども近くあって、栄区の中核機能がそろっています。

また、すぐ脇を「いたち川」が流れ、周りには木々が数多くあり、自然豊かな地域の学習教材にも恵まれています。

校内には、広い運動場と自然観察のビオトープ、体育館や観覧席のあるプールがあり、豊かな教育活動を目指して各種スポーツクラブとマーチングバンドの特設クラブを設置しています。以前より、本校学区の地理的環境を教材とした環境について総合的な学習の中で理解を深め、郷土を愛する心を養ってきました。

平成28年度からは、横浜市ESD推進コンソーシアム「ESD(持続可能な開発のための教育)推進校」として研究を進めています。

〔功績の概要等〕

保護者が安心して通学児童の見守り活動を行えるよう、毎年1回、栄警察署による「旗振り講習会」を開催し、登下校の見守り、通学路の点検など児童に対する交通安全教育に熱心に取り組んでおります。

また、児童の交通安全教育にも積極的であり、自転車の安全走行に関しては、「交通安全こども自転車神奈川県大会」に連続して選手が参加しており、学校と保護者が一体となった安全教育に寄与しています。



◎ 神奈川県立橋本高校（相模原市緑区橋本8-8-1）

〔沿革等〕

神奈川県立橋本高校は、1978年4月に設立されました。

教員数58名、生徒数862名であり、武道教育、国際理解教育を特色とし、男子は剣道、女子は居合道を3年間学んでいます。

米国と韓国の2校の姉妹校と相互訪問を行っており、歌人の俵万智さんが、国語科の教師として在職中に校名を短歌に詠ったことでも知られています。

〔功労の概要等〕

交通安全に関しては、自転車通学の生徒も多いことから、毎年5月と10月の年2回「交通安全デー」として相模原北警察署の指導のもと、生徒・教員・PTA・相模原北交通安全協会の役員らと連携し、登校時に校門においてチラシや反射材等を配布しながら、自転車の傘さしやイヤホーンを使用しながらの運転禁止などの自転車マナーアップを呼びかけています。

また、春と秋の全国交通安全運動のキャンペーン時には、吹奏楽部が協力してイベント会場などで、演奏を披露し華を添えて参加している皆さんに喜んでもらっています。

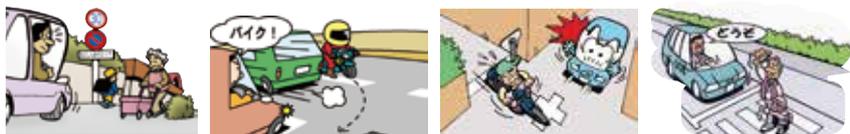


平成31年交通死亡事故抑止総合対策

昨年の県内の交通事故情勢は、発生件数、けがをされた方は前年に比べ減少し、平成に入り過去最少となりましたが、亡くなられた方は162人と前年を上回りました。

このような情勢のもと、県警察では、交通事故を1件でも減らすため「平成31年交通死亡事故抑止総合対策」として

- ① 高齢者と子供の事故防止対策
- ② 二輪車事故防止対策
- ③ 自転車事故防止対策
- ④ 横断歩行者保護対策



の4つの対策について特に取組を強化します。

横断歩行者保護対策は、歩行者の交通死亡事故の大半が道路横断中で、特に、横断歩道での交通事故は自動車の減速が不十分などといった状況を踏まえ、横断歩行者優先の意識を定着させるため、対策を強化することとしました。

また、各警察署が事故分析結果に応じて対策期間を独自に設定し、交通街頭活動や関係機関・団体と連携した広報啓発活動などの取組を強化する「5日間対策」などを推進します。

平成30年度「年末の交通事故防止運動」実施結果

■ 交通事故発生概況 12月11日(火)～12月20日(木)

	発生件数						死者数					負傷者						
	子供	高齢者	自転車	二輪車	飲酒	子供	高齢者	自転車	二輪車	飲酒	子供	高齢者	自転車	二輪車	飲酒			
期間中累計	838	54	297	198	232	5	3	0	2	0	1	0	941	57	158	192	193	5
前年同期比	-114	-6	-62	-38	-54	-6	-4	±0	-2	-1	-1	-1	-186	-10	-25	-32	-65	-6

2019交通安全カレンダー

(公財)神奈川県交通安全協会では、今年も「2019年交通安全カレンダー」を作製しました。

表紙にはみなとみらい地区の風景をイメージ。各月に交通安全スローガンや交通事故防止ワンポイントアドバイスなどを掲載し、表中には各季の交通安全運動や交通安全活動の日、交通死亡事故計上関係と県警職員三交代制当番日を載せております。



2019年使用 交通安全年間 スローガン決定



全日本交通安全協会と毎日新聞社が主催し、内閣府、警察庁等の後援により募集した交通安全年間スローガン(2019年使用)は、応募総数52,251点で、その中から一般部門A、B及びこどもの各部門で内閣総理大臣賞、内閣府特命担当大臣賞、警察庁長官賞がそれぞれ3点、こども部門で文部科学大臣賞1点、全日本交通安全協会会長賞(佳作)9点の入選が決定しました。

～ 神奈川県から 中野 恵さん (相模原市) が受賞 ～
佐藤恭子さん (横浜市)

☆ 一般部門A：運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

- ◎ 内閣総理大臣賞
チャイルドシート ちいさなVIPの 指定席 (大阪府 大石浩晶)
- 内閣府特命担当大臣賞
四輪に 無事故を足して 待つ五輪 (埼玉県 鈴木富士夫)
- 警察庁長官賞
全員の ベルトのカチャリが ゴーサイン (千葉県 宮崎みちる)
- 全日本交通安全協会会長賞(佳作)
夕暮れの 早めのライトで 防ぐ事故 (宮城県 野沢佳生)
大丈夫? 昨日のお酒も 気を付けて (山口県 松岡 昂)
歩行者を 守る気づかい 思いやり (兵庫県 村岡孝司)

☆ 一般部門B：歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

- ◎ 内閣総理大臣賞
危険だよ スマホに夢中の その君 (兵庫県 藤原一也)
- 内閣府特命担当大臣賞
赤信号 わたったうしろに 子供の目 (神奈川県 中野 恵)
- 警察庁長官賞
身につける 夜道のお守り 反射材 (兵庫県 村岡孝司)
- 全日本交通安全協会会長賞(佳作)
小さな手 上げたら大きな 赤信号 (千葉県 本間寿尚)
点滅は 次の青まで 待つ合図 (神奈川県 佐藤恭子)
自転車の すりぬげ運転 事故の元 (山口県 森本栄一郎)

☆ こども部門：こども(中学生以下)へ交通安全を呼びかけるもの

- ◎ 内閣総理大臣賞
とび出さない いったんとまって みぎひだり (栃木県 荒川愛梨)
- 内閣府特命担当大臣賞
ちゅういして くるまがくるかも まがりかど (富山県 清水菜々子)
- 文部科学大臣賞
自転車と いつも一緒 ヘルメット (静岡県 竹田ひなの)
- 警察庁長官賞
登下校 いつもの道こそ 要注意 (沖縄県 森口結衣)
- 全日本交通安全協会会長賞(佳作)
急がない 青しんごうでも 左右見て (愛知県 篠原 龍)
見えてると 思うな あぶない 夜の道 (広島県 北村 元)
うしろでも シートベルト つけようね (静岡県 岩田優恵)

(敬称略)

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- かながわ信用金庫 横須賀市小川町
- 馬淵建設(株)横須賀本店 横須賀市米が浜通
- (株)井出運輸商事 横須賀市佐野町

この人
154



磯子交通安全協会
会長
室井 烈さん



新年あけましておめでとうございます。
2019年のトップバッターを飾っていただきますのは、昨年6月に磯子交通安全協会の会長に就任されました室井 烈さんです。

室井会長は、太平洋戦争終戦の年に栃木県の防空壕の中で生を受け名前の「烈」（いさお）は、戦後の過酷な時代を生き抜く力を持つように両親が願いを込め命名したようです。

大学卒業後は、当時、全盛期のタイプライターの製造販売を行う外資系企業に就職して、外国人が多く住む中区の山下町を中心に営業に力を注いできました。結婚を機会に妻の実家の自転車店を手伝うようになり、防犯登録で交番に通っていたことがきっかけとなって磯子区の交通安全活動に強い興味をもち、加わるようになって今年で早や43年になりました。

若い頃を思い起こすと、毎週交差点に立ち登校する幼稚園児や学童たちの安全を見守り、ヤングライダースクールの講師を務

める他、元来子供好きの性格から特に、小学校で行う自転車交通安全教室に注力してきました。

“事故を起こすのは人、ならばそれに巻き込まれるのも人、何事も過信してはいけない”心の緩みが人命を左右する悲惨な事故に繋がることを常に意識してきました。

仕事が安定するにつれていつの間にか地域に愛着を持ち、気がつけば地元商店街の役員等を行うことになり地元のイベント等でも多忙な毎日を送っています。

今後も地域の方々日々感謝の気持ちを忘れずに、警察署、関係機関、協会、協会事務局と一致団結しながら安定した協会業務を行い、ボランティア団体としての役割を果たして行きたいと話しています。

これからも、健康に留意され事故のない安全・安心な街づくりを目指して、ご活躍していただきたいと願っています。

取材協力：磯子交通安全協会

こんにちは
「鶴見交通安全協会」です

新年明けましておめでとうございます。
わが鶴見区を紹介すると、昨年、区制90周年を迎えました。横浜市の北部に位置し、首都圏の中でも緑豊かな台地、一級河川の鶴見川、旧東海道が通る歴史のまち、そして日本の近代化の礎となった京浜工業地帯の中心となる臨海部という色々な面をもつ街です。
さらに鶴見といえば、生麦事件のゆかりの地があり、付近には、皆さんご存知のキンビール生麦工場があります。（協会も年に2回は利用しています。）

年の初めの箱根駅伝では、1月3日に復路最後の鶴見中継所が設置され、毎年選手の繰り上げスタートのドラマが

あり、鶴見の地から離れた方々や、他県からも泊りがけで見に来る方も多いところす。

また、海沿いを走るレトロなJR鶴見線があり、（一度乗りに来ませんか？）さらには、あの石原裕次郎が眠る曹洞宗の大本山總持寺もあります。

鶴見交通安全協会は、昭和23年5月に発足し、70周年を迎えました。

会長をはじめとして役員が47名、事務局員が2名、アルバイト2名の体制で、地域交通安全活動推進委員、交通指導員、交通安全母の会の事務局でもあります。

当協会の紋章は、昭和63年に鶴三羽（鶴見）が、緑十字（安全）を支えている姿を象徴として、下にはスムーズな流れで名前をローマ字で表現したもの



を作成しています。

今後も、鶴見警察署の指導のもと80周年に向け、さらに邁進してまいります。

（久田 記）

地区交通安全協会の活動紹介



緑 鴨居駅周辺でのハンドルキーパー運動



都 築 仲町台駅周辺での飲酒運転根絶キャンペーン



厚木警察管内 本厚木駅周辺でのハンドルキーパー運動



津 久 井 川尻交差点周辺で「ゆすりあい」キャンペーン



泉 立場駅前での年末の交通事故防止キャンペーン



相模原南 古淵駅周辺の飲食店で飲酒運転根絶キャンペーン



磯 子 杉田駅周辺での年末の交通事故防止パレード



相模原 小山地区での飲酒運転根絶キャンペーン



鎌 倉 滑川交差点での飲酒運転根絶キャンペーン



南 横浜橋商店街での年末の交通事故防止キャンペーン

年末の交通事故防止運動

インフォメーション

- 企画安全委員会 ————— 2月22日(金) 県協会会館
- 交通指導員連絡会議 ————— 2月28日(木) 県協会会館